

防潮堤のおかしな話
海はだれのものか

先日、市の都市計画
マスタープランにつ
いて地域懇談会があ
り、大島地区の集會に
参加しました。

課題①定住を促す
生活産業基盤の整備
②大島架橋を契機と
する観光地としての
魅力向上③沿岸部に
おける防災性の向上
④豊かな自然環境の
保全と活用の4項目
の説明がありました。

しかし、具体策を聞
くと納得する答えは
ありません。そして地
図上では大島の西側
が防潮堤を示す赤い
線で亀山から龍舞崎
近くまで引かれてい
ます。対岸も鹿折から
岩井崎まで赤い線が
続いています。

自然の緩衝帯を壊
し、人口の巨大水路を
造ることが、防災性の
向上になるのではし
ょうか。そして、豊かな
自然環境の保全と活
用や観光地としての
魅力向上になるの
でしょうか。

そして、さらにおか
しな話があります。大
島の要害中沢地区は
防潮堤の工事発注が
終わっているとのこ
とでした。

要害中沢地区の防
潮堤は船揚場を中心
にして左右に計画さ
れ、高さが左側4.5
m、右側7mです。そ
して海に12mと2
1m張り出します。

ここはウニ、アワビ、
海藻、魚の成育場所で
す。開口時は要害中沢
地区の人たちだけで
はなく、大島で漁業権
を持っている人は誰
でも獲りにいける場
所です。そこを破壊し
て造るわけです。これ
は全島民の問題です。

そこで県の職員に
漁協から承認を得て
補償額も決まったの
かと聞くと「それはこ
れからだ」と言います。

防潮堤を造るにし
ても、漁協との話し合
いや漁業権の問題を
解決してから、工事発
注するのが筋だと思
うのです。大島の漁協

役員に「話がきていま
すか」と聞くと「まっ
たくない、それは本当
か」と逆に聞かれます。
県の職員は「住民の
合意を得ている」と話
します。集まった人数
を聞くと10数人と
の答えです。

地区住民の合意を
得ていると言います
がこの地区だけで数
百人が住んでおり、多
くの人は知らないとい

答えます。

知っていると答え
た人でも「近所付き合
いがあるって、反対と言
えないんだよ」「海が
見えなくなり、逆に怖
いから要らない。だけ
ど私は言えないので
代わりに言っておさ
い」など、建設反対を
はつきり言えない人
がたくさんいます。

そして県の職員は
「地権者の了解を得
ている」と言います。

「海は海沿いの地権
者のものですか」と聞
くと「違います」と答
えます。ではどうして
工事発注できるのか、
聞いても答えがあり
ません。つまり県は、
地権者と数人の賛同
者だけで防潮堤建設
を決定し、進めている
わけです。

漁業権だけではな
く、自然環境や景観を
考えると全島民の問
題で、一地区のそれも
地権者の問題ではな
いと思います。

大島だけではなく、
唐桑から小泉まで同
じ手法で防潮堤建設
を決定し、進めている
としたら、将来に禍根
を残します。もう一度
県も市も住民の意見
要望を聞くべきだと
思います。

出来てしまえば

壊せません。さらには
維持管理費が重くの
しかかり、子孫に過大
な負債を負わせるこ
とになります。

防潮堤を造らない
と復興が遅れるとの
意見があります。しか
し海を壊せば、課題①
の定住を促す生活産
業基盤がなくなり、奥
尻島のように人口流
出を加速させます。

また「他の地区の人
が口を出すな」とか
「他の地区のことは
言えない」と言う人が
います。「海は公のも
の」で、その地区や地
権者のものではありません。
海は国民の共
有財産です。

小泉では反対意見
を封じ込めている様
子がNHKで放映さ
れていました。それで
良いのでしょうか。

防潮堤建設が地権
者の了解や、一部の賛
同者だけを集めて決
定されているとした
らおかしな話です。
「海と生きる」気仙沼
市です。海からの視点
で、計画を見直すべき
と思います。

大島中学校仮設

熊谷雅裕

2014年2月1日

三陸新報掲載